

## 令和5年度第3回神戸市教育委員会会議の結果

※政策形成過程を公表する趣旨から、非公開とした会議項目のうち、会議後に方針等が公表されたものは、議論の過程の一部についても記載しています。

### 協議事項8 コロナの5類感染症移行後における教育活動について

コロナの5類感染症移行後における、5月8日以降の新型コロナウイルス感染症への対応や教育活動について協議した。

今後の学校園における行事等の実施予定について確認し、感染症対策に注意をして教育活動に取り組む必要がある等の意見があった。

### 協議事項9 市立幼稚園のあり方について

今後の幼児教育・保育における市立幼稚園のあり方の具体的な方向性について協議した。

幼保一体での研修を行うなど、子供の育ち・学びに必要な支援に関して連携しつつ、これまでの市立幼稚園の役割は、引続き担っていく必要がある等の意見があった。

### 協議事項10 生徒指導マニュアルの策定について

生徒指導マニュアルを策定するに当たり、内容等について協議した。

子供への支援を一層充実させるためにもマニュアルの掲載順を再度検討することや、教職員が常にマニュアルを参照できるよう常時携帯できるマニュアルを作成する必要がある等の意見があった。

### 報告事項1 平成18年2月に認知した神戸市立小学校の金銭授受等事案におけるいじめの有無及びその対応を調査する委員会の調査報告書について

5月11日に提出された、平成18年度に認知した神戸市立小学校の金銭授受等事案におけるいじめの有無及びその対応を調査する委員会の調査報告書の概要について報告があった。

教育委員会としては、調査委員会の調査結果を重く受け止め、いじめの事実を認定するとともに、当時の姿勢は消極的であったと言わざるを得ず、もっと真摯に徹底した調査を行なうべきだったと考えています。不十分・不適切な対応があったことは、大いに反省しなければならず、深くお詫び申し上げます。

調査委員会からの指摘や再発防止策の提言をしっかりと受け止め、誠実に対応していきたいと考えています。